

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 5 月 11 日 (2006.5.11)

【公開番号】特開 2001-244088 (P2001-244088A)
 【公開日】平成 13 年 9 月 7 日 (2001.9.7)
 【出願番号】特願 2000-52718 (P2000-52718)
 【国際特許分類】

H 0 5 B 41/24 (2006.01)

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

H 0 5 B 41/16 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 41/24 A

G 0 3 B 21/14 A

H 0 5 B 41/16 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 17 日 (2006.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ランプ電流が低周波矩形波電流と高周波矩形波電流とからなり、該ランプ電流により高圧放電灯を点灯させる高圧放電灯点灯装置において、

該ランプ電流は、低周波矩形波電流の半周期の直後に、該低周波矩形波電流の半周期の極性とは逆の極性から始まる高周波矩形波電流の 1 サイクルが印加されたものからなり、該高周波矩形波電流は、前記低周波矩形波電流よりも大きい電流値であることを特徴とする高圧放電灯点灯装置。

【請求項 2】

ランプ電流が低周波矩形波電流と高周波矩形波電流とからなり、該ランプ電流により前記高圧放電灯を点灯させる高圧放電灯点灯装置において、

該ランプ電流は、低周波矩形波電流の半周期の直後に、該低周波矩形波電流の半周期の極性とは逆の極性から始まる高周波矩形波電流の 1 サイクルが印加されたものからなり、該高周波矩形波電流は、該高周波矩形波電流の 1 サイクルの後半の半サイクル期間のみ低周波矩形波電流よりも大きい電流値であることを特徴とする高圧放電灯点灯装置。

【請求項 3】

前記低周波矩形波電流の周波数を 60～500Hz の範囲から選択し、前記高周波矩形波電流の周波数を前記選択された低周波矩形波電流の周波数の 5～25 倍までの範囲で選択して使用されることを特徴とする請求項 1 乃至 2 の何れかの項に記載の高圧放電灯点灯装置。

【請求項 4】

前記低周波矩形波電流よりも大きい該高周波矩形波電流の電流値は、高圧放電灯の正常動作時のランプ電流値の 1.2～5 倍とすることを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れかの

項に記載の高圧放電灯点灯装置。

【請求項 5】

直流電圧を交流ランプ電流に変換するブリッジ回路（３）、該ブリッジ回路に該直流電圧を供給する回路（２、９）及び該ブリッジ回路の交流ランプ電流における交互導通を制御する回路（８）とからなる高圧放電灯点灯装置において、

該制御回路（８）は、該交流ランプ電流が、低周波矩形電流と該低周波矩形電流の半周期の直後に、該低周波矩形波電流の半周期の極性とは逆の極性から始まる高周波矩形波電流の１サイクルが印加されたものからなるよう、該ブリッジ回路（３）を制御し、

該直流電圧供給回路（２、９）は、該印加された１サイクルの高周波矩形波電流の１サイクル期間又は該１サイクルの後半の半サイクル期間だけ、該交流ランプ電流の他の期間よりも大きい直流電圧を該ブリッジ（３）回路に供給していることを特徴とする高圧放電灯点灯装置。